



発行所  
 八尾市消防団  
 発行責任者  
 八尾市消防団長  
 松村康正  
 八尾市高美町5-3-4  
 TEL(072)992-0119  
 FAX(072)992-7722  
 刊行物番号R7-185

# 令和8年消防出初式



## 出初式

令和8年1月12日(月)、中部広域防災拠点において新春恒例の消防出初式が盛大に挙行されました。当日は消防職員・消防団員あわせて総員405名、車両29台が参加し、厳粛かつ引き締まった雰囲気の中で式典が執り行われました。分列行進では、各隊が日頃の訓練の成果を示す統制の取れた行動を披露し、市民の皆さまに消防団の規律と士気の高さを感じていただく機会となりました。

続く小型ポンプ操法や救助訓練、一斉放水では、災害に即応するための確かな技術と連携力を再確認。消防団員一人ひとりが地域を守る責任と誇りを胸に刻む、意義深い一日となりました。

今後も不断の努力を続け、地域防災力の向上に努めてまいります。さらに、地域住民との連携強化や防災意識の普及にも力を入れ、災害に強いまちづくりを目指してまいります。

◆(久宝寺分団 松田・岡田)

団長挨拶



松村康正消防団長

新年あけましておめでとうござい... 旧年中は消防団の活動に... 対し、多大なるご理解とご協力を... 賜り、心より感謝申し上げます。

令和7年は、自然災害や火災の... 厳しい現実を改めて痛感する一年... となりました。特に2月に岩手県... 大船渡市で発生した大規模な林野... 火災と、11月に大分市佐賀関の住... 宅地で発生した建物火災は、いず... れも大きな被害をもたらしました... 被災された皆さまには心よりお見... 舞い申し上げます。これらの災害... を通じて、日頃からの防火対策と... 地域の連携の重要性を改めて強く... 認識いたしました。

また、今年度は総務省消防庁よ... り消防車両が無償貸与され、その... 車両を運用する支援隊が10月に発

足いたしました。支援隊は、地震... や台風、集中豪雨、土砂災害など... の大規模自然災害や、市内で発生... する大規模な炎上火災に対し、指... 揮・防御・警戒活動を担う重要な... 役割を果たします。この新たな体... 制により、消防力の一層の強化が... 図られ、地域の安全確保に向けた... 迅速かつ的確な対応が期待され... おります。

私たち、八尾市消防団はこれら... の災害を決して「対岸の火事」と... せず、消防力の向上に努め、地域... の安全を守る責任を改めて自覚し... ております。今後も訓練の充実や... 情報共有を一層強化し、地域住民... の皆さまと連携しながら、防災意... 識の向上と迅速な対応力の強化に... 取り組んでまいります。

本年も団員一同、誇りを持って... 地域の安全を守り続ける所存です... 地域の皆さまのご理解とご協力を... 賜りますよう、どうぞよろしくお... 願い申し上げます。

最後に、団員の皆さまの健康と... ご家族のご多幸、そして地域の安... 全を心よりお祈り申し上げ、新年... のご挨拶といたします。

大阪府消防表彰受章

令和7年度大阪府消防表彰として、... 本市からも大阪府知事表彰をはじめ... として、多くの団員が栄えある表彰... を受章しました。

【大阪府知事表彰】

○消防勤続功労章

山本分団 分団長

○消防功労章

曙川分団 分団長

南高安分団 副分団長

高安分団 副分団長

高安分団 副分団長

【日本消防協会会長表彰】

○功績章

団本部 副団長

【大阪府消防協会会長表彰】

○功績章

団本部 副団長

○永年勤続章

山本分団 分団長

○勤続章

団本部 副団長

龍華分団 副分団長

山本分団 副分団長

八尾分団 部長

大正分団 部長

山本分団 部長

志紀分団 班長

○勤功章

八尾分団 分団長

山本分団 部長

曙川分団 班長

山本分団 班長

志紀分団 班長

志紀分団 班長

志紀分団 班長

志紀分団 班長

志紀分団 班長

志紀分団 班長

志紀分団 班長

志紀分団 班長

志紀分団 班長

志紀分団 班長

志紀分団 班長

志紀分団 班長

志紀分団 班長

志紀分団 班長

志紀分団 班長

志紀分団 班長

志紀分団 班長

志紀分団 班長

志紀分団 班長

志紀分団 班長

志紀分団 班長

志紀分団 班長

志紀分団 班長

志紀分団 班長

志紀分団 班長

竹田 英夫

福田 大祐

杉原 弘恭

川田 剛

西村 俊彦

中辻 勝俊

山本 剛久

辻村 学

松本 健次

伊達 悠樹

三上 茂樹

野本 和裕

宮平 誠二

川田 修

米田 卓司

竹田 哲郎

森本 道明

中野 宏志

永野 尚弘

中川 貴哉

### 防災リーダー養成講習

令和7年11月9日(日)、八尾市内に在住・在勤・在学(高校生以上)の方を対象に、大阪府中部広域防災拠点で「令和7年度八尾市防災リーダー養成講習(消防版)」を開催しました。当日は雨天にもかかわらず、76名の方が参加されました。講習では、事前学習として八尾市公式YouTubeチャンネルの防災講義動画を視聴していただき、時間や場所を選ばず学べる環境を整えることで、受講者の理解促進と利便性の向上を図りました。



会場では、消防署員や消防団員が消火訓練や救命講習などの実技指導を行い、八尾市危機管理課の職員によるHUG(避難所運営ゲーム)も実施され、実践的かつ多角的な内容となりました。講習終了後には「八尾市防災リーダー養成講習修了証」を交付しました。



参加者は終始、真剣な眼差しで受講していました。今後は、防災訓練の企画・立案や大規模災害時など、地域や企業における「自助」「共助」の中核的存在として防災リーダーが活躍されることを期待しています。分団でも情報共有を進め、防災意識のさらなる向上に努めてまいります。  
◆(八尾分団 中村・小林)

### 秋季火災予防パトロール

令和7年11月9日から15日の期間、「令和7年秋季全国火災予防運動」が八尾市内全域で開催され、様々な防火に関する取り組みやイベント、防災訓練などが各種団体によって実施されました。この運動は、火災の発生を未然に防ぐため、地域社会全体の防火意識向上を目的としています。



八尾市消防団では、特に火災が発生しやすい季節を迎えるにあたり、地域の皆様に防火意識を高めていただくことを重要視し、各分団・分隊単位で消防車による広報パトロールを積極的に実施しました。この広報パト

ロールでは、火災予防の重要性をアナウンスしながら、地域住民への注意喚起を行いました。



高安分団においても4つの分隊に分かれ、それぞれの隊が高安地区全体を網羅する形で、広域農道なども含めた広範囲でのパトロールを行いました。この地域は地理的特性から林野火災への警戒も必要であり、特に乾燥する季節には注意が求められます。

今後も高安分団では、歳末特別警戒や春季火災予防運動などと併せて、日常的に丁寧な広報活動と継続的なパトロールを通じて、地域の防火意識向上と安全確保に努めてまいります。  
◆(高安分団 清水・竹本)

### 林野火災訓練

令和7年11月13日(木)、大畑山青少年野外活動センターにて林野火災訓練がおこなわれました。今回は現場指揮車をはじめ、数隊の消防隊を編成しての訓練となり我々消防団は現場近くの市民の森で待機し、指示がありました。



林野火災ということもあり消防車が入って行けない場所に火点がある為、ホースを7本延長しての消火活動になり山道を駆け上がっていく隊員の姿を見て、日ごろの訓練の大事さを痛感しました。

消防団としては、他の消防隊



とは別の火点を担当する為、防火槽を用意し可搬ポンプを用いた消火活動となりました。市街地の火災現場と違い、足場の悪い中での消火活動となり普段できない訓練ができたことは大変有意義だったと実感しています。



◆ 我々南高安分団は山間部に面していることもあり、このような山火事の発生を常に想定し、今後も訓練に励んでまいります。(南高安分団 市田・山下)

### 署団合同ポンプ線法

令和7年11月16日(日)、消防署・消防団合同放水訓練が開催され、22分隊が参加しました。今回の訓練は、火災現場における迅速かつ安全な放水活動を目的とし、車両の進入から放水、標的の制圧、そして撤収まで、一連の流れを実践的に学びました。



まず、車両を所定の位置まで進めるタイム計測から訓練が始まり、タイムを意識しつつも安全確認を怠らないよう注意しました。停車後、指揮者の指示を受け、各隊員が迅速に持ち場へ

移動し、ホースの延長や分岐管、筒先の設置を行いました。ホースカーの扱いに慣れていない団員もいましたが、先輩団員のアドバイスを受けながらスムーズにホースを延長できました。また、ドラム缶を放水で所定の位置まで移動させる訓練では、水圧の調整が難しく苦戦しましたが、チームで協力し目標を達成しました。

今回の訓練を通じて、チームワークの重要性を改めて認識しました。火災現場は時間との勝負であり、各隊員が連携し迅速かつ的確に行動することが不可欠です。



◆ 今回の経験を活かし、今後も地域の安全を守るため訓練に励んでいきたいと思っております。(志紀分団 井形・辻村)

# いのちを守る防災EXPO

令和7年11月22日(土)南木の本防災公園にて、八尾市ロータリークラブ主催「いのちを守る防災EXPO<sup>2025</sup>」が開催され、防災体験・展示ブースや消防・警察・自衛隊の設備や車両の操作、乗車体験ができるブースがあり、子供達も楽しめる地域密着の防災イベントです。



消防ブースとして、放水体験・消火器体験・AED講習・煙中避難体験・ミニ消防車体験・制服着用体験などを用意し、参加された方々に関心を持って

ただき、大賑わいとなりました。大正分団から5名が参加し、防火水槽の水を利用したポンプ車での放水体験を担当しました。実際に消防隊が使っているホースを使い、筒先を持ち、水の通ったホースの重さや硬さ、狙ったところに当てる難しさを体験していただきました。



今回の防災イベントを通じて地域の方々とコミュニケーションを取ることで、非常に良い機会になりました。

◆(大正分団 山内・福井)  
今後より一層消防団の活動に興味を持っていただけたら、日々の活動に取り組んでいきたいと思えます。

# 機関科ポンプ車課程

令和7年11月30日(日)大阪府立消防学校にて「機関科ポンプ車課程」が行われました。大阪府下からは約80名の団員が参加し、消防ポンプ自動車の操作技術と知識の習得に励みました。



午前中は、株式会社モリタの講師による講義が行われ、消防ポンプ自動車の始業点検の方法やポンプの構造、故障時の対応など基礎的な知識を学び、講義では、実際の現場で役立つポイントや安全管理の重要性についても詳しく説明があり、参加者は熱心に耳を傾けていました。午後はグラウンドにて、消防学校の教官と株式会社モリタの講師指導のもと、実際にポンプ車を使用した始業点検、真空テ

スト、乗車・下車の要領、水利部署の手順、揚水・放水の訓練を実施しました。実技訓練では、細かな操作方法やチームでの連携が求められ、参加者同士で意見交換をしながら技術の習得に努めました。



◆(西郡分団 荒井・橋本)  
参加者からは、「今回の課程で得た知識と技術を、今後の現場活動に活かせるよう、日々の訓練を継続していきたい」との声が聞かれました。今後も消防団員の技能向上を目指し、実践的な訓練を重ねてまいります。地域の安全を守るため、消防団員一人ひとりの成長が不可欠であり、今回の課程はその大きな一歩となりました。

### 山本地区防災訓練

令和7年11月30日(日)山本小学校にて「山本地区防災訓練」が行われました。まちづくり協議会が主体となり、高安出張所・山本分団上之島分隊・大阪経法大SAFETYが協力しました。



参加者の方々は、災害時を想定して、各町会単位で集合し、町会長さん先導のもと避難経路を確認しながら小学校へ来られました。子供連れのご家族や高齢の方がおられるため、皆さんで声を掛け合い協力しながら移動される姿に、地域の繋がりがや共助の大切さを感じました。防災訓練の内容は、小型ポン



プ放水体験・煙中体験・水消火器体験・AED講習・防災食試食・消防団車両展示です。参加者の方には各町会単位で班になり、各ブースをローテーションで体験して頂きました。普段出来ない事を体験することで、参加者の皆さんが興味・関心を持たれ、防災意識向上や各組織の存在意義の認知に繋がっていると感じました。我々の知識・技術の向上だけでなく、地域密着型の訓練で裾野や繋がりを広げること、いざという時の自主防災力の大切さを感じました。今後多くの方に継続して訓練に参加して頂きたいと思えます。  
◆(山本分団 藤本・椿本)

### 団本部支援隊発足式及び歳末警戒出発式

令和7年12月14日(日)中部広域防災拠点にて団本部支援隊発足式及び歳末警戒出発式が執り行われました。

本部支援隊は、総務省無償貸与車両(CDI)の運用にあたり、消防団本部の直轄部隊として、大規模災害時等に万全の消防体制の確立を図ることを目的に、各分団から選出された団員により編成されました。発足式では、松村団長からの激励、支援隊員の紹介、支援隊長の決意表明があり、支援隊に対する期待や役割を認識し、隊員は引き締まった表情で決意を新たにしました。



支援隊発足式後は、歳末警戒出発式があり、大松市長より訓示をいただき、消防団車両27台、消防団員約200名が歳末警戒パトロールに出発しました。



これから支援隊は、本部と各分団をつなぐ「縁の下の力持ち」として、日頃からの訓練や情報共有を大切にし、団全体の連携力を高め、いざという時に確実な支援ができる体制の構築に努めて参ります。そして八尾市消防団の一員として、仲間を支え、市民の安全・安心を守るため活動してまいります。

◆(龍華分団 兼山・佐々木)

### 八尾市消防団協力事業所紹介 株式会社 スギタ

私が所属する曙川分団にいる杉原班長(写真左側)と乾技術団員(写真右側)は、八尾市消防団協力事業所に認定されている会社にお勤めされています。今回は杉原班長に会社でのエピソードや、どのようにして仕事と団活動を両立しているのか聞いてきました。

(杉原班長)

私が入社した株式会社スギタは、創業者である会長が長年消防団で活動され、その意思を継いで社長も消防団員として活動してまいりました。

そのような環境の中で、私も消防団に入団し、今日まで活動を続けております。営業職ということもあり、出勤指令が入った際には外回りをしていることも多いですが、社内にいる際などは会長から「すぐに行け！」と激励を受けることもあり、社として消防団活動への理解はもちろん、地域のためにより積極的に参加するよう促されてきました。

そのような環境の中で長く消防団員として活動させていた

いたおかげで、私も社内や地域に対する防災意識を高く持つことができるようになったと感じております。

今後も、会社および地域の安全を守る一員として、さらに防災意識の向上に努めるとともに、地域の皆様と連携しながら災害に強いまちづくりに貢献してまいります。

私のできる範囲で防災意識を広げていく所存です。

◆(曙川分団 森・岩元)



### 消防団協力事業所とは

消防団協力事業所とは、地域の消防団活動を積極的に支援し、協力する企業や団体のことを指します。これらの事業所は、従業員が消防団員として活動しやすい職場環境を整備し、出動や訓練への参加を理解・支援しています。また、防災訓練や地域の防災啓発活動にも積極的に関わり、地域の防災力向上に大きく貢献しています。

八尾市では、こうした企業や団体を「消防団協力事業所」として認定し、消防団と地域社会の連携を強化しています。認定を受けた事業所は、地域の安全を守る重要なパートナーとして、災害時の迅速な対応や防災意識の普及に努めています。

### 意識の変化

私は令和5年5月に友人を紹介して八尾市女性消防団に入団しました。急に入団が決まったこともあり当初は消防団の活動内容についてあまり知識がない状態でしたが、入団して活動を通じて、さまざまな経験をさせて貰うことができました。



普通救命講習では人に教えることの難しさを知り、講習にいられたらの方の受講理由や意識の高さ、実際の現場での体験談にとっても刺激を受けました。そんな中、今までの生活では意識していなかった自分に来る人

助けやAEDの場所の確認など明らかに入団前とは違いました。意識が向くようになりました。普段の自分の仕事とは違うところで、大人になって新たにチャレンジすること、経験することはとても大切なことのように感じております。



◆今後、私に人の命を助けられるのかはわかりませんが、入団したこと、知識を得たことを縁だと感じて活動していきたいです。  
(女性分団 平野 奈央)

### 編集後記

火の見櫓第53号をお読みいただきましてありがとうございます。

作成にご協力いただきました各団体の皆様、広報部員の皆様のおかげで素晴らしい第52、53号広報誌ができたことを感謝しています。次号も楽しみにしています。

委員長 松田 孝志

この度は「火の見櫓」52号・53号の発刊にあたり、広報部会と消防団関係の皆様のおかげで副委員長を務めることができ、素晴らしい記事が完成しました。誠にありがとうございます。今後のご活躍と発刊を心より楽しみにしております。

副委員長 荒井 宏

作成で各隊の方々と協力し完成出来たことを嬉しく思います。

広報部会に参加し、各隊の地域イベントの参加や、自主的な訓練、活動の話を通じて自分達の隊でも頑張らなければと気合いが入りました。

広報部会での主な仕事は記事の作成ですが、各隊と交流する事が一番重要だと思います。自分の成長にも繋がりますし、これから広報部会に入っていた方々も楽しく頑張ってください。

副委員長 藤本 雄太

### おおきに大阪消防団応援の店

「おおきに大阪消防団応援の店」は、大阪府内の消防団員が八尾市消防団員の利用者証を提示すると店舗ごとに異なる割引やサービスが受けられます。

#### 事業者の登録方法

- ・左記のQRコードから「おおきに大阪消防団応援の店」登録申請フォームにアクセスします。
- ・店舗の所在地、特典内容や対象者（同伴者を含むか否か）など、必要事項を入力し、登録申請を行います。
- ・登録後、「おおきに大阪消防団応援の店」の表示証（ステッカー）をお送りしますので、わかりやすいところに貼ってください。



### 令和8年度 消防団行事予定

- 4月 消防団員任命式  
恩智川水防訓練
- 5月 大阪府地域防災総合演習  
初任基礎教育訓練A課程
- 7月 初任基礎教育訓練B課程  
中河内地区支部消防総合訓練
- 8月 女性団員研修会
- 9月 大阪府消防大会
- 11月 全国女性消防団員活性化大会  
消防署・消防団合同放水訓練  
水防視察研修
- 12月 歳末特別警戒出発式  
大阪府消防女性消防団員連絡会議
- 1月 消防出初式・文化財訓練
- 2月 消防団充実強化研究会  
資機材取扱い訓練
- 3月 春の火災予防運動・消防記念日表彰式  
大阪府消防表彰式

### 広報部員名簿

#### 委員長

久宝寺分団 松田 孝志

#### 副委員長

西部分団 荒井 宏  
山本分団 藤本 雄太

#### 委員

久宝寺分団 岡田 素之  
西部分団 橋本 辰夫  
八尾分団 中村 道弘・小林 隆廣  
龍華分団 兼山 泰治・佐々木 祐介  
大正分団 山内 聡・福井 雅悠  
曙川分団 森 弘樹・岩元 雄亮  
南高安分団 市田 篤史・山下 貴弘  
高安分団 清水 大輔・竹本 亮太  
山本分団 椿本 達也  
志紀分団 井形 肇・辻村 学